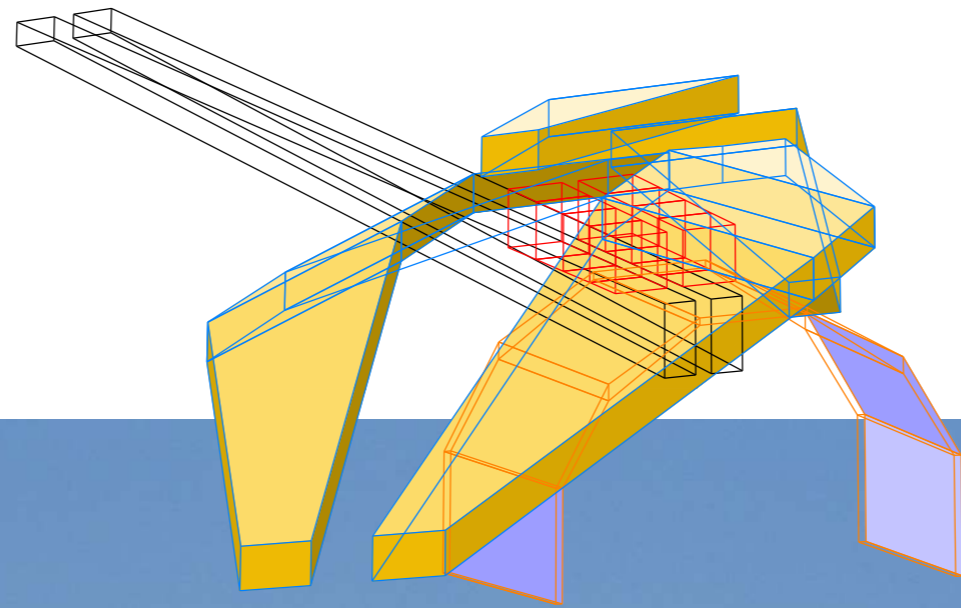
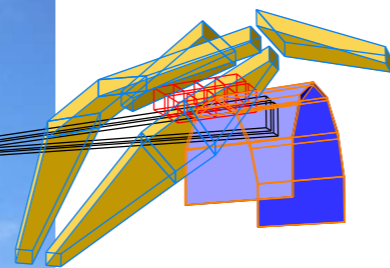


BOUNDARY

BETWEEN THE CONSTRUCTION AREA
&
URBAN AREA



建築物の領域と、都市環境の領域
2つの領域の境界 (boundary) をポジティブ化することが
都市環境を引き込む建築行為であると提案する。
その建築行為は、大気汚染・ヒートアイランド現象・騒音公害 等、の
問題とされている都市環境の修復を先行させなければならない。
その修復は、「環境保全の方向性を示すエレメントの集合体」を用いて説明され、
ここに、そのイメージを形象化する。



「都市環境を引き込む」ことは、
インフラ整備をすることであるという見解を併せ持つ
そして、高架の交通システムは、
環境や景観に与える影響が最も顕著である。

